

薬だつ知識

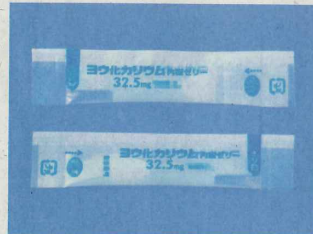
74

原子力災害が起こった場合、住民の安全を最優先に考え、甲状腺被ばくの予防目的で安定ヨウ素剤を服用する場合があります。服用するタイミングは、国または県、市町が広報を通じて指示します。

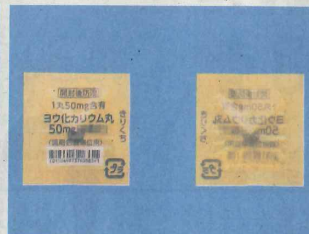
原子力規制庁は福島第一原発事故の教訓を踏まえ2013年、安定ヨウ素剤を事前配布する方針としました。鹿児島県では14年度に全国で初めて原子力施設からおおむね5キロ圏内（PAZ）に事前配布を行うことになりました。また、18年度からおおむね30キロ以内（UPZ）にも事前配布をしています。

内部被ばくの影響により数年から数十年後に甲状腺がんなどを発症するリスクが上昇します。その影響は年齢が低いほど大きいと言われており、服用を優先する対象者は妊婦、授乳婦および未成年で、そのため事前配布を希望

安定ヨウ素剤事前配布



3歳未満が服用するゼリー剤



3歳以上が服用する丸剤

するのが望ましいと考えられます。

安定ヨウ素剤は、成分名をヨウ化カリウムといい、医療用医薬品です。丸剤と内服ゼリー剤があります。安定ヨウ素剤には放射性ヨウ素による内部被ばくを抑える効果があります。放射性ヨウ素を吸収する24時間以内に服用すると、甲状腺に入ってきた放射性ヨウ素の蓄積量を減らします。服用のタイミングが遅くなるほど抑制効果が弱くなります。

3歳以上は丸剤、3歳未満は内服ゼリー剤を服用します。副作用は、体調に異変が起こることがまれにあります。丸剤の使用期限は5年、内服ゼリー剤の使用期限は3年です。PAZ・UPZ圏内（一定の要件に該当し希望する方の住民に毎年配布しています。事前配布の際は、薬の飲み方や保管場所など住民にしっかりと確認してもらい安心してもらえるよう努めています。

（鹿児島県薬剤師会医療福祉委員会・藤井規好）

※第1水曜に掲載します。

原子力災害被ばく防ぐ

令和5年12月6日（水）

74. 安定ヨウ素剤事前配布